

# 令和2年8月森町議会臨時会会議録

1 招集日時 令和2年8月20日(木) 午前10時00分

2 招集場所 森町議会議事堂

3 開会・開議 令和2年8月20日(木) 午前10時00分

4 応招議員

1番議員	川岸和花子	2番議員	出口裕
3番議員	岡戸章夫	4番議員	加藤久幸
5番議員	中根信一郎	6番議員	岡野豊
7番議員	吉筋恵治	8番議員	中根幸男
9番議員	鈴木托治	10番議員	西田彰
11番議員	亀澤進	12番議員	山本俊康

5 不応招議員 なし

6 出席議員 応招議員に同じ

7 欠席議員 なし

8 地方自治法第121条の規定に基づき議場に出席した者の職氏名

町長	太田康雄	副町長	村松弘
教育長	比奈地敏彦	総務課長	村松成弘
企画財政課長	佐藤嘉彦	産業課長	長野了
建設課長	中村安宏	学校教育課長	塩澤由記弥

9 職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

議会事務局長 花嶋 亘 議会書記 清泉 雅文

10 会議に付した事件

議案第64号 専決処分の報告承認を求めることについて

議案第65号 令和2年度森町一般会計補正予算（第8号）

————— 議会運営委員会の閉会中の所掌事務調査について

< 議事の経過 >

議長 （ 亀澤 進 君 ）出席議員が定足数に達しておりますので、  
ただいまから令和2年8月、森町議会臨時会を開きます。  
これから本日の会議を開きます。  
発言の際にも、マスクを着用して発言してください。  
また、発言するとき、発言が終了したときにマイクボタンを押す  
ようお願いいたします。  
それでは、日程に入ります。  
日程第1、「会議録署名議員の指名」を行います。  
会議録署名議員は、森町議会会議規則第127条の規定によって、1  
0番西田彰君及び12番山本俊康君を指名します。  
日程第2、「会期の決定」を議題とします。  
お諮りします。  
本臨時会の会期は、本日1日限りにしたいと思います。  
ご異議ありませんか。  
（ 「異議なし」と言う者多数 ）  
議長 （ 亀澤 進 君 ）「異議なし」と認めます。  
したがって会期は、本日1日限りに決定しました。  
日程第3、議案第64号「専決処分の報告承認を求めることについ

て」を議題とします。

職員に議案を朗読させます。

( 職 員 朗 読 )

議 長 ( 亀 澤 進 君 ) 本案について提案理由の説明を求めます。

町長、太田康雄君。

町 長 ( 太 田 康 雄 君 ) ただいま上程されました議案第64号「専決処分の報告承認を求めることについて」提案理由の説明を申し上げます。

令和2年度森町一般会計補正予算(第7号)の専決処分でございますが、本年6月30日から7月9日にかけて、発達した梅雨前線に伴う線状降水帯がもたらした豪雨と、7月26日に、発達した梅雨前線に伴う線状降水帯により発生した豪雨により被災しました公共施設等の早期の復旧に着手するため、経費の計上に急を要したことから、令和2年7月28日に専決処分を行ったものであります。

お手元にお配りしました参考資料にありますように、6月30日から7月9日にかけての豪雨は、大河内観測所での数値で、雨量合計851ミリメートル、時間最大雨量については、天方観測所及び太田川ダム管理所観測点での数値で、7月6日の15時から16時に34ミリメートルを観測しており、約1週間程度に渡り継続的に降り続いた点が特徴です。

また、7月26日の豪雨は、大河内観測所での数値で連続雨量206ミリメートル、時間最大雨量については、太田川ダム管理所観測点での数値で19時から20時に46ミリメートルを観測しており、短時間に猛烈な豪雨となりました。

さて、本補正予算は、補正前の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ20,200千円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ10,259,338千円とするものであります。

それでは以下、事項別明細書により補正の内容を歳出から申し上げます。

事項別明細書7・8ページ、11款1項1目、農業用施設災害復旧

費1,500千円につきましては、農業用排水路3か所や農道水神線等の倒木、崩土除去など、3路線に係る修繕費及び崩土除去等作業手数料でございます。

2目、林道災害復旧費8,300千円につきましては、林道地獄沢線等の倒木や崩土除去など、6路線に係る林道施設内支障木除去等作業手数料6,200千円と、林道橘線の路肩崩壊箇所の復旧工事費2,100千円でございます。

3目、治山施設災害復旧費1,900千円につきましては、防護柵等の修繕費500千円と、流出土砂の除去のための崩土除去等作業手数料1,400千円でございます。

2項1目、公共土木施設災害復旧費8,500千円につきましては、町道の路肩崩壊、土砂の流出、崩土・倒木除去、排水路の閉塞等、道路36件、河川10件に対応するための崩土除去等作業手数料でございます。

被災状況につきましては、参考資料をご覧ください。

続きまして、歳入についてご説明申し上げます。

5・6ページ、20款1項1目、繰越金20,200千円につきましては、財源調整として計上するものでございます。

以上が、専決処分に係る令和2年度森町一般会計補正予算（第7号）の内容であります。

よろしくご審議のうえ、ご承認いただきますようお願い申し上げます。

議長 （ 亀澤 進 君 ） これから質疑を行います。質疑はありますか。

10番、西田彰君。

10番議員 （ 西田 彰 君 ） 災害復旧ですので、速やかに復旧をされたということでもあります。この被災状況を見させていただきますと、一部作業完了となっているところがあります。一部作業完了ということは、まだ全面的に作業が終わっていない、これは8月18日現在のようですので、その完了が終わっていないところの予算立

議 長  
産業課長

てというのは、まだ追加されるのでしょうか。

( 亀澤 進 君 ) 長野産業課長。

( 長野 了 君 ) 産業課長です。西田議員のご質問にお答えします。参考資料に従ってのご質問だと思いますので、こちらで記載させてある一部作業完了の、例えば産業課所管林道施設のナンバー3、箇所が橋、林道橋線の一部作業完了につきましては、林道の部分の路肩が少し崩壊をした部分については土のうで一応処置をさせていただいたのですが、その林道の下に町道が走っています。林道が崩壊したことによって水が流れていて、大部分ちょっと少し、今後ちょっと崩れそうな部分がありますので、そこについてはこの中で予算措置をさせていただいておりますが、まだ着手していない。大規模な工事になりますので、そういった意味での一部完了ということで予算措置はこの中にされております。8番の林道地獄沢線につきましては、割合大規模な崩壊が起きて地獄沢線上の土砂と倒木の除去は終わっていて通行可能にはなっているのですが、この専決予算の中でやらせていただいたのは、その主に林道、少し周辺の倒木と土砂については除去ができたのですけれども、まだ河川内に少し倒木等が残っておりますので、そこについては今後少しやり方も検討させていただきながらやっていきたいという意味で、この一部作業完了については、その部分の予算は入っていないです。要はどういったやり方がいいかというのを今後検討しますので、それを見積もりをいただいて今後検討するという形になります。治山施設の鍛冶島、栗の島の部分でございます、一部作業完了については、沢がありまして、それから水がたくさん入ったことによって、そこにちょっとポンプがあるのですけれども、公衆用トイレ等のポンプが故障しましたので、そのポンプを早急に直させていただいたということでございます。土砂の処理とか今後それがさらにひどくならないような処理については、予算措置はこの中でさせていただいております。一応工法も大体決まっておりますが、まだ作業に入っていないといった形でございます。以上です。

議 長  
建設課長

( 亀澤 進 君 ) 中村建設課長。  
( 中村安宏 君 ) 建設課長です。西田議員のご質問でございますけれども、建設課所管の参考資料2ページから3ページになりますけれども、その中の一部作業完了、作業が完了していないところがありますけれども、全て今回の専決予算の中で計上をさせていただいております。一つずつ言わせていただきますと参考資料の2ページの8番、橘地区の宮川の倒木ということでございますけれども、これが一部作業完了という状況です。これは宮川沿いと小國神社の上流になりますけれども、別荘が何軒か建っているあたりがあります。そこの宮川の護岸に生えている大変大きな直径70センチ位の柳の木が別荘に向かって倒れてしまったということがありまして、一部その別荘にかかっている部分については撤去を完了させていただきましたけれども、残りの幹の部分については大変大きな木なものですから、クレーンとかの手配がまだできておりません。そういうものの手配ができ次第作業を完了させるということで考えております。それから20番、亀久保地内の排水路でございます。場所は傳倉沢という沢になりますが、ここは道路には面しておりませんが、業者のスケジュールの調整をし次第着手したいということで考えております。それからその下の21番、橘地区の大上宮奥線と崩土倒木ということで、一部作業完了でございます。倒木処理については道路にすぐ倒れてきそうだとということで撤去は完了しておりますけれども、崩土の除去につきましては、先ほど提案理由の説明にもありましたけれども、この町道の上に通っている林道の処置等の状況を見ながら、崩土の除去なども行っていきたいということで、倒木の処理だけは完了させていただいております。次の3ページになりますけれども35番、北戸綿、町道の戸綿北4号線になります。これが天浜線と協議中ということでございますけれども、場所が戸綿杭瀬ヶ谷線という町道がありまして、その町道の線路を隔てて一本北側の細い、幅員が1.5メートルほどの町道になりますけれども、ここに天竜浜名湖鉄道所有の山林の法面が崩れて町道を塞いでしまっ

たという状況でございまして、これがちょうど線路の脇を通っておりますまして、線路との近接工事になるということで天竜浜名湖線との協議など、静岡県も交えまして協議を進めております。その結果、天竜浜名湖鉄道で主導的に対応するということで決定しておりますけれども、ちょうどお盆休み等に入ってしまったということで、天竜浜名湖鉄道の方で段取りを進めていただいているとは思いますが、今のところスケジュール等についてはこちらに情報は入ってきておりません。予算については、町道部分に係る部分についてはこの専決予算で想定で計上はさせていただいております。町道については生活道路にもなりますので、なるべく天竜浜名湖鉄道と協力しながら早期に対応できるように協力してやっていきたいと思っております。36番の三倉、大久保地区の中野大久保線でございますけれども、これも未作業になっておりますけれども車両自体は通行できる状態でありますので、これも近々業者のスケジュールに合わせて対応していきたいということで考えております。あと40番、ダム関連の道路になりますけれども崩土倒木、これも近々行いたいと思っております。片瀬の41番と45番については完了しております。以上、予算の方は全て今回の専決予算で計上させていただいているということです。以上です。

議長  
10番議員

( 亀澤 進 君 ) 10番、西田彰君。

( 西田 彰 君 ) ありがとうございます。それでもう一点、側溝が閉塞している、今回かなり長雨、また豪雨もありましたので、落ち葉とかそういったものが詰まってしまったとかそういう状況も起きたのではないかと思うのですが、その側溝の閉塞というのは簡単には取れなくてやっぱり業者に何とかして欲しいと言うので役場へ相談があったかと思いますが、実は赤根地区へ入る水路が一宮川から分岐して水路に流しています。そこに地元の方からもう全然だめだ、土砂がいっぱいになっちゃった、それで見に行ったらもう全然すごい土砂が溜まってしまっていて、以前一回業者にやってもらいました。ただそれをまた頼むのもちょっとあれかなと思って土砂

を除去しました。そんな状況を、やってやれるところもあるわけで、そこら辺、かなりこの中には5か所くらい側溝の閉塞というのがありますけども、地元の方がもしやれるものならやってもらえるというようなところあったかどうか、ちょっとそれだけ分かれば。

議 長  
建設課長

( 亀澤 進 君 ) 中村建設課長。

( 中村安宏 君 ) 建設課長です。西田議員のご質問でございます。ちょっと具体的には承知しておりませんが、自分たちもパトロールを回る中で、ちょっとした閉塞でしたら何かクワのようなもので撤去するとかでやらせてもらいましたけれども、そういうパトロールを回る中で地元の方が一生懸命側溝の落ち葉を取ったりとかというところも何か所か見られました。そういうことでご協力していただいて大変ありがたいと思っております。以上です。

議 長

( 亀澤 進 君 ) 他に質疑はありませんか。

3番、岡戸章夫君。

3番議員

( 岡戸章夫 君 ) 3番、岡戸です。今回の6月後半から7月の長雨で全国で大災害があったことを思うと、森町では人的災害等がなかったということはそれがひとつ良かったと思いますけれども、こうして資料をいただいて森町全体を眺めますと非常にたくさんの箇所で被害が出ているということで大変だったと思います。その中でちょっとお伺いしたいことは、以前からも町内会等から、ここはちょっと危険なのでなんとか対応してくれというような要望が出ているところがあるかと思えます。今回のこの46件の中で事前に町内会から要望が出されていたところが崩土とか倒木とかにつながったところがあったのかどうか教えていただきたいと思えます。

議 長  
建設課長

( 亀澤 進 君 ) 中村建設課長。

( 中村安宏 君 ) 建設課長です。岡戸議員のご質問でございますけれども、例えば24番の木根線などの崩土とありますけれども、こういうところは大雨等や風が吹いたりすると必ずと言っていいほど崩土があったり倒木があったりするところでございますけれども、ここはもう全線にわたって対策するということは不可能ですの



で、こういうところは常にあるよというようなところがあります。それから2番の市川商店の辺り、葛布線ですけれども、場所は市川商店のすぐ横の方になりますけれども落石がありました。この辺りは何度か落石が小規模にあるようなところでもありますけれども、その都度落石の撤去等をさせてもらっております。将来的には何か対策は必要ではないかというところではあります。その他は今回の大雨で予想してなかったところが崩れたりしたところだということだと思っております。以上です。

議長 ( 亀澤 進 君 ) 長野産業課長。

産業課長 ( 長野 了 君 ) 産業課長です。岡戸議員のご質問にお答えします。産業課の方は林道等が主でございますので特に町内会等からいろいろ具体的に要望があったというところは少ないです。この中で要望なり例年課として留意しているところは、当然林道はそれぞれ何か所か思い当たるところがあるのですが、例えば治山施設の1番、鍛冶島の栗の島の辺りは毎回水が出ております。雨が降った時には必ず見に行つて、去年も措置してはいるのですが、その措置が少し間に合わなかったのかという点はございます。そういったところについてはそれこそ雨が降った時はすぐ見に行つたりしてそれなりの処置をさせていただいているというところがございます。今回の対応で例年のそういった被害等は軽減できるように、ちょっと業者とも一緒になって工法を工夫しながらやっていきたいと考えております。以上です。

議長 ( 亀澤 進 君 ) 3番、岡戸章夫君。

3番議員 ( 岡戸章夫君 ) 今伺ったのは、やはり町内会の地元の方が地元のことを一番よく理解しているので、そういったところと実際の被害箇所がどうリンクしているのかというのはちょっと興味があったので質問させていただきました。なかなか町道にしる林道にしる山間部は本当に距離も長いですし、どこがというのはなかなかピンポイントで押さえづらい所があるので、また地元としてもいろいろ注視はしていきたいと思っておりますけれども、またよろしくお願

たいと思います。それともう一つは、自分も地元にて雨が降ったり台風があつたりすると意識して回ってなるべく早く情報を提供したいと思っております。そうした中で、夜間に限らず早朝に限らず役場へ電話するのですけれども、できれば今こういうネットとかいろいろな環境が整っている時代で、スマホももうほとんど皆さん持っている時代ですので、そういったところですぐ写真を撮ってメールなり何らかの方法でお届けするのが一番現場の状況を伝えやすいと思います。ですので、もし建設課なり産業課なりでそういったところに、ここで被害があつた場合ここへメールを入れてくださいとか、そういったメールとか写真を送って下さいとか、そういったのをもう少し広く町民に与えてくれると非常にありがたいと、もちろん僕だけではなくて朝一番にそこを通つた人が気が付いて役場に電話したり私のところに電話したりとか、そういったいろいろな人がいろいろな状況に対応してくださっているのです、そういったところも一つ工夫していただけると、よりこちらも状況を伝えやすいですし、役場としては状況をいちいち見に来る前に事前に、口で伝えるよりは分かりやすいと思いますので、そこら辺はぜひ考えていただきたいのですけれどもいかがでしょうか。

議長  
産業課長

( 亀澤 進 君 ) 長野産業課長。

( 長野 了 君 ) 産業課長です。産業課と致しましては今回の被災状況の把握の実態を少し申し上げたいと思います。主に林道でございますけれども、それぞれの路線でああいう雨があつた時、当然僕らとしては雨が上がった時、二次災害に繋がらない段階で担当職員等が見に行くようにはしています。その前に実態上はやはりいろいろそこを管理、実際に管理しているわけではないですが、その工事に携わっているとかよくご存知の方、業者の方から連絡がございます。その際には当然こちらとしてもメールアドレスに写真を送っていただいて、こんな状況だというのをいただいた上で、後は口頭になりますけれども前崩れたところ何メートル前だとかといった情報で実態上は動いているところでございます。そこをまた一

般の方をお願いするかどうかというのはまたちょっと違う整理、というのは雨が降っていない時でもまた崩れる恐れがありますので、そこについて一般の方に広く呼びかけるというのは、それはそれでこちらとすると心配もございますので、実態上は例えば農家の、農道についても見回って、当然自分の茶畑が気になって見回っていただいているので、その際には僕ら常に農業の方、林業の方も常に携わっていますので電話をいただいて、ちょっとメールを送るよとかという形で対応させていただいています。現在の運用と言うか実態上迅速に情報が上がってこないとかということはないという状況でございます。そこを広く呼びかける点のメリットデメリット等ございますので、そこは検討していきたいと思っております。以上です。

議長  
建設課長

( 亀澤 進 君 ) 中村建設課長。

( 中村 安宏 君 ) 建設課長です。ただいまの岡戸議員のご質問でございますけれども、建設課も産業課同様、業者からのメールのやり取りというのは当然あります。それに加えまして一般の方からもすでにホームページ等で組織の中からメールアドレスが貼られておりますので、そちらを介して写真付きで通報していただいているということもあります。夜間、こういう大雨の時、警報が出たり水位が上がったりした時には夜間でも私たちは待機等しておりますので、夜中でもメール等送っていただければ一応見られる体制にはなっているものですから、ホームページなどのメールアドレスから送っていただければいいかということで考えております。以上です。

議長

( 亀澤 進 君 ) 他に質疑はありませんか。

( 発言する者なし )

議長

( 亀澤 進 君 ) 「質疑なし」と認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

( 発言する者なし )

議長

( 亀澤 進 君 ) 「討論なし」と認めます。

これから議案第64号を採決します。

本案は、原案のとおり承認することに賛成の方は、起立願います。

議 長 ( 起 立 全 員 )  
( 亀 澤 進 君 ) 起立全員です。  
したがって、議案第64号は、原案のとおり承認されました。  
日程第4、議案第65号「令和2年度森町一般会計補正予算(第8号)」を議題とします。  
職員に議案を朗読させます。

議 長 ( 職 員 朗 読 )  
( 亀 澤 進 君 ) 本案について提案理由の説明を求めます。  
町長、太田康雄君。

町 長 ( 太 田 康 雄 君 ) ただいま上程されました議案第65号「令和2年度森町一般会計補正予算(第8号)」について、提案理由の説明を申し上げます。  
本補正予算は、補正前の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ22,500千円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ10,281,838千円とするものであります。  
以下、事項別明細書により補正の内容を歳出から申し上げます。  
7・8ページ、7款1項1目、商工総務費20,500千円につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により打撃を受けている町内中小事業者を支援するため、森町商工会が実施するプレミアム商品券発行事業に対し補助するものであります。  
この事業の目的は、プレミアム商品券を発行することで町民の購買意欲を喚起し、町内店舗での消費による地域経済の活性化を図るものであります。  
10款2項1目、学校管理費2,000千円につきましては、森小学校の南昇降口・放送室において、7月上旬の豪雨により雨漏りが発生し、その原因を調査したところ、南昇降口・放送室屋上の防水層が劣化しており、応急的な修繕では原因の根本解決が見込めないため、防水層を改修するための修繕費及び同じく雨漏りが発生しました給食室の、使用していない換気口の閉塞修繕費でございます。  
続きまして、歳入についてご説明申し上げます。

5・6ページ、15款2項1目、総務費国庫補助金20,500千円につきましては、プレミアム商品券発行事業補助金に対し、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源として計上するものであります。

20款1項1目、繰越金2,000千円につきましては、財源調整として計上するものでございます。

以上が、「令和2年度森町一般会計補正予算（第8号）」の内容でございます。よろしくご審議のほどお願いいたします。

議長（ 亀澤 進 君 ）これから質疑を行います。質疑はありますか。

8番、中根幸男君。

8番議員（ 中根 幸男 君 ）8番、中根幸男でございます。一点、質問させていただきます。7・8ページの関係です。今回、森町商工会が行うプレミアム商品券発行事業ということで、この制度を活用して、2,050万の受け入れをしながら支出をされていくということで、大変良いことと思っております。そこで私が聞いているのは1万円で13,000円のプレミアムをつけてその商品券を買い取るというように聞いておりますけれども、町内が約6,000戸ですから6,000戸に3,000円を付けた予算のような形になるのか、その辺の詳しい内容を少しお聞かせいただきたいと思っております。

議長（ 亀澤 進 君 ）長野産業課長。

産業課長（ 長野 了 君 ）産業課長です。中根幸男議員の商品券に関するご質問にお答えします。詳しい内容ということで、この事業については7月16日に森町商工会の方から要望が上がってきました。読み上げますと、新型コロナウイルス感染症による経済的な影響については、新型コロナウイルス特別相談の状況をみると累計で167件、月平均50件程度と引き続き相談が絶えないことや、テイクアウトにご協力いただいた16店舗の業績の回復状況を伺ったところ大半がコロナ前の半分程度の回復と厳しい状況が続いております。つきましては、依然として新型コロナウイルスの影響に苦しむ本町の小

規模店舗を応援するため、周辺市町の動向も踏まえ、仮称「森上げようプレミアムクーポン」を発行するよう要望いたしますという要望を町長宛に受けております。それを受けまして町としては商工会事業として商工会が主体となって行うということであるならば、それに対して支援はさせていただきたいということで回答させていただいております。詳しい内容でございます。対象については森町の町民を対象にしていると伺っております。まず商工会が行う事業でございますので、今聞いていること、今後変わる可能性もあるかもしれませんが、今聞いている内容につきましてお答え申し上げたいと思います。数量としては6,000セットを考えている、1セットを1万円で購入してプレミアム分、いわゆるプラスアルファの部分3,000円を付けまして13,000円分の買い物ができるという内容でございます。そのうち1万円分については今後商工会で取扱事業者を募集するわけなのですが、その全店舗では1万円分は使えますと、3,000円分については大規模店舗を除く部分のみ使えるのが3,000円というふうにしたいとお聞きしております。先ほど申しましたようにプレミアム率は30パーセントということでございます。テイクアウトにも使用が可能とPRしていきたいということでございます。スケジュールと致しましては9月上旬に取扱店の募集また商工会員への周知をして、9月中旬に取扱店の説明会を行う、9月下旬に取扱店の申し込みの期限を設けて10月10日辺りから販売をしていきたいと聞いております。使用期間については10月17日土曜日から1月31日を予定しているとお聞きしております。以上です。

議 長

( 亀澤 進 君 ) 8番、中根幸男君。

8番議員

( 中根 幸男 君 ) そうしますと前回と同じようにまず取扱店を募集しまして、それが決定次第印刷物も渡していただけるという解釈でよろしいでしょうか。

議 長

( 亀澤 進 君 ) 長野産業課長。

産業課長

( 長野 了 君 ) 予算措置の部分の説明が抜けて申し訳ございません。この20,500千円の内訳でございます。プレミアム分が要

は3,000円分になりますので3,000円掛ける6,000ということで掛けますと1,800万円ということになります。事務費については主に印刷製本費、広告宣伝費等を含めて250万円といった内容になります。ですので、この事業について、要は商工会が行う事業に対する補助になりますので、例えば昨年、あとは平成27年度にも行ったわけですが、それについては国の方からこういう商品券を発行してくださいという補助事業のスキームが示されて、それに則って町が、昨年度は委託費になりますけども商工会に委託をして行なったものになります。そういう意味では昨年度の事業については、商品券の発行の事業主体は町になりますけれども、今回については補助事業でございますので、あくまでも商工会が発行する商品券といった形になります。財源、先ほど提案理由の中でもございましたけれども新型コロナウイルス感染症対策の地方創生臨時交付金を充てる予定ということで、今回についてはそのメニュー自体が国から示されているわけではなくて、その交付金を使って充当しますという整理になっていますので、ある意味これまでの商品券としてはスキームなりというのは多少異なるということをご理解いただければと思います。以上です。

議長  
8番議員

( 亀澤 進 君 ) 8番、中根幸男君。

( 中根 幸男 君 ) 今朝ほどの新聞にも、掛川市でも臨時会を開催してこのプレミアム商品券を行うということでありまして、また袋井でも行っていると聞いております。森町との相違点、袋井市はこのようにやっている、あるいは掛川はどうだという点が分かりましたら教えていただきたいと思っております。

議長  
産業課長

( 亀澤 進 君 ) 長野産業課長。

( 長野 了 君 ) 産業課長です。周辺市町におきましてもプレミアム商品券を取り扱っている、予定しているということでございます。例えば袋井市につきましてはプレミアム率が20パーセントです。発行冊数が35,000冊、これを主にやはりほぼ全世帯の数かなという数字でございます。発行額が1万円で額面額が12,000円にな

ります。プレミアム率20パーセントということでございます。購入限度については、袋井市が一人5冊までございます。購入対象者が市内在住、在勤、在学といったことでございます。使用期間が8月21日から10月31日ということでございます。掛川市については、今承知している内容についてだけお答えいたしますけどもプレミアム率は50パーセントということでございます。発行冊数については、ある時点を捉えた世帯数だと思いますが45,731世帯ということでございます。販売額が1万円で額面額は15,000円で、一世帯1冊。市内在住世帯と聞いています。あと子育て世帯については額面2万円と聞いておりますのでプレミアム率が要は100パーセントという形になると思います。3,000円分については小規模店舗のみで使える設定ということです。なお袋井市について付け加えますと袋井市も使える店舗がドラッグストア、ホームセンター、スーパー等では使用できないと聞いております。なお磐田市でございますけども磐田市がプレミアム率30パーセント、発行冊数が17万冊で購入限度が一世帯3冊、購入対象者が市内在住世帯、使用期間が9月1日から12月31日と聞いております。先ほど言い忘れましたが森町の現時点で予定している購入限度額については一世帯3冊までとお聞きしております。以上でございます。

議長 ( 亀澤 進 君 ) 他に質疑はありませんか。

12番、山本俊康君。

12番議員 ( 山本俊康 君 ) 12番、山本です。今回このコロナ対策ということで商工会からの要望があつて国の補助をいただいてこういう事業をしていく。先ほどお聞きしますと今回のこの商品券等々の扱いの期間が10月17日から翌年1月31日ということですが、皆さん方に使っていただきたいということですが、ちょっとこの関係でせつかくの機会ですので別のことでちょっとお聞きしたいと思うのですが、特定定額給付金一人10万円について、ちょうど明日、森町については申請期限が来るというような時期にちょうど来るものですから、明日のことでせつかくの機会ですのでお伺いをしたいわけです。もう



明日期限が来るということで、まだ申請されていない方がどれくらいおられるのかもし分かったら教えていただきたい。またこの頃申請の時期がだいぶ近づいているということで、勘違いをされている方が、各自治体によって8月末だとか8月19日までだとか、いろんな期限がバラバラだということで勘違いをされているような方もあるようですが、森町の場合、今残されている申請されない方々がまだあるのかどうかを含めてちょっと教えていただけたらと思います。

議長 ( 亀澤 進 君 ) 村松総務課長。

総務課長 ( 村松成弘 君 ) 総務課長です。ただいまの山本議員のご質問にお答えをいたします。森町の特別定額給付金の締め切りにつきましては8月22日の土曜日ということで計画をしております、消印有効ということでやらせていただいております。今現在、25世帯ほどの方がまだ未申請というような形でございますけども、この方たちにつきましてはもう以前から家庭訪問であるとか通知であるとか、提出の促進というようなことで働きかけをしております。中には既にどこかへ転居されてという方もいらっしゃるかもしれないですけどもなるべく期限が近づいておりますので、そういった方に再度提出していただけるような体制はとっております。以上です。

議長 ( 亀澤 進 君 ) 他に質疑はありませんか。

3番、岡戸章夫君。

3番議員 ( 岡戸章夫 君 ) 私も特別定額給付金の件についてお許しをいただければ質問しようと思っております、今、山本議員からも質問がありましたので続けてちょっと質問させていただきたいと思っております。私もホームページに8月14日付けのデータが出ておりますので、それですと世帯数で99.1パーセント、人で言いますと99.6パーセントということで非常に高い数字で、時々マスコミにも紹介されているところでございます。今、最新のデータを総務課長からもいただきました。ですので、あと25世帯、人数で言いますと、14日の時点からすればもう70人以下なのかと思っております。今回の特定定額

給付金ですけれども、対象者にとっても町にとっても、これは誰にとってもメリットのある制度だと思いますので、ぜひ100パーセントを目指して、この数字に満足することなく100パーセントを目指して欲しいと思います。やはり100パーセントとなるとNHK始めいろんなメディアでも取り上げられると思います。ヤフーニュースとか、またとない森町のPRと言いますか、森町はすごいぞ、よくやったということが広く周知されるころであろうかと思っています。そういったことでかなり高い申請、支給率だと思いますけれども、ぜひ最後の最後、極端な話、明日1日他の業務を放り投げてでも、100パーセントを目指して頑張っていたきたいと思っているわけです。特にこういうやり方は邪道と言われるかもしれませんが、とりあえず申請内容にまだ分からない所があってもとにかく一旦申請してもらおう、提出してもらおう、それでその後で不備があったところはフォローしてもらおうというのも一つのやり方かと思っております。そこら辺最後の取り組みについて、先ほども従来からもいろんな電話とか訪問とかでやっていますとありましたけれども、最後のあと二日間の取り組みについてもう一度お伺いしたいと思います。

議長  
総務課長

( 亀澤 進 君 ) 村松総務課長。  
( 村松成弘 君 ) 総務課長です。ただいまの岡戸議員のご質問にお答えをいたします。先ほど山本議員の質問にもお答えをさせていただきましたが、未提出者の方につきましては、提出していただきたいという催促の通知を数回ほど出させていただいております。また、家庭訪問をさせていただいて、あとは高齢の方等で支援が必要な方については、関係する課とか関係される方にご協力をいただきながら作業をしております。なかなか若い方で一人暮らしという方も中にはいらっしゃいますので、できるだけ連絡が取れるような体制、またあとは家庭訪問等、再度実施をさせていただいて申請をしていただけるようにしていきたいと思っております。以上です。

議 長 ( 亀澤 進 君 ) 町長、太田康雄君。

町 長 ( 太田康雄 君 ) ただいま岡戸議員から特別定額給付金についてのお考えを伺いましたけども、私は100パーセントを目指すべきもの、もちろんそれに越したことはありませんが他の業務を投げ打って100パーセントを目指すというものではないと考えております。あくまでも申請主義でありますので、申請者が申請をされる、そのことがもし期限等あるいは申請方法等周知されていないとすれば町の対応に問題があるかと思えますけども、その点については先ほど来総務課長がお答えいたしておりますように、郵送あるいは直接訪問して申請についてお知らせをしております。それでもなおかつ申請をされないということについてはその方のご事情、お考えもあるかと思えますので、このことを100パーセントやったからといって町が賞賛されるわけでもないと思えますし、そういう性質の事業ではないと思っております。しかしながらできる限り多くの皆さんに申請をしていただいて受給をしていただくということは、残された時間はわずかですけれども行ってまいりたいと思っております。

議 長 ( 亀澤 進 君 ) 他に質疑はありませんか。

10番議員 ( 西田 彰 君 ) 今回のプレミアム商品券、商工会がやるということでありまして。商工会に加入していなくてももちろん対象になると思います。それで他の市町の状況を先ほどお聞きしましたけども、今回コロナのことで売上が大幅に減ったとか、そういったものに対しても国が、申請すれば補助していただけるということもありますが、元々本当に中小の商店、森町の中の商店の皆さんは以前に比べれば本当に売り上げは相当減ってきていると思えます。大手スーパーが進出し始めて、全国的にそうですけども商店街の売上げというのは減ってきている中でまたコロナの打撃を受けているということでありまして。3,000円が中小の商店で使えるということではありますが、3月5月6月、今回の臨時の会議を見ても森町として例

えば財政調整基金を少し使ってそういった本当に困ったというところに支援をするという予算立てがされておられません。たとえ1億円取り崩しても、そういった支援を待っている商店の方もあつたりする中でそういった支援がされていないというところに、ちょっと何のために財政調整基金があるのかというような気持ちもしております。他の市町がそういったものを使わなくても、森町はもう助けていくのだ、町民みんながこの危機を乗り越えていくということが必要ではないかと思っております。東京都はもうほとんど財政調整基金を使ってしまった。どういう使い方をしたか知りませんが、静岡市もそうだそうです。そんなことで少しその辺を考えることができないのかと思いたしますがいかがでしょう。

議長  
企画財政  
課長

( 亀澤 進 君 ) 佐藤企画財政課長。  
( 佐藤 嘉彦 君 ) 企画財政課長です。ただいまのご質問でございますが、少し財政調整基金の話、財源の話をしていただきたいと思いたいます。財政調整基金の残高につきましては元年度末で約19億8千万程度ということで、当初予算で既に4億5千万計上してございますので今年度末の残高見込みというのは約15億3千万程度になるという状況でございます。それから地方創生の臨時交付金につきましては現在二次分まで交付限度額が国から示されているというところで、これにつきましては約3億6千万程度ということで、8号補正予算までで国から示された二次分まで、これが地方単独事業分に該当する事業でございますので、計上額につきましては現在2億3千万程度を既に予算計上させていただいているというところでございます。そして前年度繰越金、実質収支ということでございますが、これにつきましては約6億9千万程度ということで確保をしているところでございます。町の方針としまして、まずはこの前年度繰越金を補正財源としてコロナ対策に使って取り組んでいく、そして合わせて地方創生の臨時交付金であるとか、あるいは個別の国庫金に振り替えることが可能な事業につきましては繰越金から交付

金の方、国庫金の方へ財源振り替えをしていくということをしているところがございます。ただいま西田議員からご指摘がありましたとおり、コロナというのは災害に準じて考えるということであれば、今まさに財政調整基金は何のためにあるのかということが問われているという場面ではあるということは認識をしているところでもあります。そう考えれば今後につきましては財政調整基金の一時的な取り崩しといったものも選択肢のひとつとしては考えられると思いますけれども、先ほど少しお話をさせてもらいましたけれども、本庁におきましては当初予算編成時において財政調整基金の活用というものが常態化しているという状況でございます。そしてコロナの終息が見えないという状況の中で臨時交付金も単年度限りのものである、それからまた今後のアフターコロナ対策ということで、この先一体どれくらいの額、金額の規模が必要になるのかというのは見通せない状況にある、また町税収入の影響額をこの時点で見極めるということは非常に困難であるということを見ると、現時点としては森町の状況においては、基金残高というのは可能な限り確保しておくというところも一方では要請されるところではないかと思っております。そういったことから財調基金と繰越金の二つのバランスを取りながら状況の変化に合わせて、今後もさまざまな対策等を検討していく中で財源対策についても検討していかなければいけないと考えているところであります。

それから本当に困っているところへ支援がっていないのではないかとご質問でございますけれども、これにつきましてはこれまで町の対策本部会議でさまざまな方針を出しまして、例えば公共施設の利用制限であるとか、その段階的な解除、その都度この対策本部会議での方針を踏まえて感染症の予防対策に取り組んできたというところがございます。森町としてはまずは学校であるとか不特定多数が集まる集会施設の再開についての感染予防対策、特に子どもが感染したような場合には、それがそのまま医療崩壊に直結するという可能性もあるので学校であるとかあるいは放課後児童クラブ等

の居場所への感染防止対策、そういったものに取り組んできた。また高齢者につきましても通常は後期高齢者の年齢を境に要支援であるとか要介護状態になる方が統計的には多いということなのですが、フレイルによるような場合は一気に重度化してしまうという傾向にあるというのが資料上分かっているものですから、そうなるたとえば一人当たりの介護給付費をアップするし、アップをするということは保険料のアップにもつながる、それがひいては町民負担にもつながるということで、そういったことも踏まえて、また生活困窮者に対する相談体制の強化、それと合わせてフレイル予防対策に取り組んできたというところがございます。またいつ発生するか分からない災害に備えて避難所であるとか救護所であるとかそういったところの感染防止対策の資機材の整備も取り組ませていただいたというところがございます。また、新たな生活様式に基づく対応策ということも対応しておりまして、学校のトイレであるとか、給食の分散化に対応する備品であるとか、空調機の整備等々、早急にまずは対応しなければいけないというものについては対応させていただいているところがございます。また、町内の事業所であるとかあるいは町内の社会福祉施設事業所が行います感染症予防対策に対する支援にも取り組んでいるところがございます。繰り返しになりますけれども対策本部会議での方針等を踏まえまして、森町において森町の状況を見ながら、今まで対応させてきていただいているところがございますので、ご理解をお願いをしたいと思っております。以上です。

議長  
10番議員

( 亀澤 進 君 ) 10番、西田彰君。

( 西田 彰 君 ) 町のコロナ対策、コロナに対応するさまざまな取り組みの説明をいただきまして本当にしっかりやっていただいていると思います。ただ、課長も前向きな答弁をしていただきましたがやっぱり生活そのもの、生活がもう本当に苦しいと、対策はお金を掛ければできていくわけですが収入が大幅に減ってしまったとか、そういったもので表面に出てこない町民もおられると思

います。そこら辺を細かく町が把握しながら支援をしていっていただく、そのためにはやっぱり少し財調の取り崩しも必要なときが出てくるのではないかと考えております。町の今説明をいただいた取り組みをますます強めながら、長期の闘いになると思いますので、そこら辺の対応をお願いしたいと思います。答弁は結構です。

議長

( 亀澤 進 君 ) 他に質疑はありませんか。

6 番、岡野豊君。

6 番議員

( 岡野 豊 君 ) 一点、お願いいたします。プレミアム商品券の関係ですけども、町の方の20,500千円の財源、国庫、国ということで100パーセントということで、これは分かりました。これの商工会の元のこの1万円分の6,000枚、6,000セットですので6,000万になると思うのですが、この財源の内訳が分かるようでしたらお教えをいただきたいと思います。それから先ほどの答弁の中でプレミアム分の30パーセント、これは森町分ですけどもプレミアム分については各市町の裁量というか判断に任されているのではないかとと思うのですが、先ほどの中で50パーセントのプレミアム分という市もあるということでしたが、森町は30パーセントにしたという理由をお教えいただきたいと思います。

議長

( 亀澤 進 君 ) 長野産業課長。

産業課長

( 長野 了 君 ) 産業課長です。岡野議員のご質問にお答えします。1万円分については、商品券を購入される方が1万円を、例えば商工会が発行しますので1万円で商品券を買います。それは13,000円分買うことができます。例えば13,000円を、ある商店で13,000円分の商品券を渡して商品を買う、そうしたらその事業者が13,000円分を商工会に持ってきて、1万替えてくださいということになりますので、1万円分についてはどこの負担もないというか消費者が負担するということになるかと思えます。プレミアム分についてでございます。ここについては先ほども申し上げましたように商工会の要望を持って来られたときの中でも、その事業案等もご説明いただいたわけなのですけども、その際に30パーセントでお願いし

たいということでもございましたので、町が設定したということではございません。当然そこには商工会さんも町の事情とか周辺の事情とか、磐田市が30パーセント、袋井市が20パーセント、あとは当然森町の財政規模等もございますので、そういうことを踏まえて30パーセントということで設定されたのかと想定いたします。以上です。

議長

( 亀澤 進 君 ) 6番、岡野豊君。

6番議員

( 岡野 豊 君 ) 30パーセントにつきましては商工会からの要望ということで分かりました。それから事務費250万円、これは補助金になっていますので、商工会に補助されるということですが、この事務費につきましてはプレミアム商品券の印刷等そのようなものが入っているのか、その中身を教えてください。

議長

( 亀澤 進 君 ) 長野産業課長。

産業課長

( 長野 了 君 ) 産業課長です。岡野議員の再質問にお答えします。事務費の中身ということでもございます。ここの事務費につきましては、主に商品券の印刷製本費、あとは周知のポスターとか、あとは取扱店を表示するポスターとか、あとは広告費、要はチラシを入れたりする場合はそういったものが想定されます。当然補助事業でございますので商工会の方からこういう事業も見て欲しいとかというものがあれば、その性質に応じてそれを見て、この予算の中で対応していきたいと思っております。以上です。

議長

( 亀澤 進 君 ) 6番、岡野豊君。

6番議員

( 岡野 豊 君 ) 三問目につきましては答弁は結構ですけども先ほどの質疑の中に特定給付金の話が出ました。世帯で99.1パーセントで人とすると99.6という、ほぼ町民の方の関心が高くて、ただいろいろな方がいらっしゃるか、貰えるものは貰うとか、やっぱり生活が苦しい、俺はやはり早く手続きしないといけないという方もいらっしゃるかと思っております。これは8月14日時点の結果論ですので、なかなかこれを受けて町民の方が大変、やっぱり私から見ると厳しい生活の状況になっているのかと、99パーセントというどちらとも数字見ますと、プレミアムがもう少し裁量としてあったならば



う少し、50パーセントとまではいきませんが、もう少し上乘せができれば町民の方も使い道もありますし生活の中で使える商品券ですので、上乘せということを町で考えたかどうか、それだけ一点、お聞かせください。

議 長  
町 長

( 亀澤 進 君 ) 町長、太田康雄君。

( 太田康雄 君 ) 岡野議員の再々質問にお答えをさせていただきますが、先ほど産業課長からも申し上げておりますように今回のこのプレミアム商品券の事業につきましては商工会さんが実施をする事業でございます。自治体によっては同じように商工会あるいは商工会議所が実施をしているところ、あるいは自治体が行っているところ、それぞれありますけれども森町につきましては、当然森町としてもプレミアム商品券の発行の事業というものは想定されたものですけれども、そこは商工業者を会員として商工業の振興を図っている商工会さんが自らの事業としてこれを実施したいという申し出をいただきましたので、そのご要望に対してお答えをさせていただいているわけでございます。そして先ほど申し上げておりますように、商工会さんの方からこういう内容でどうかというご提案をいただいて、その他さまざまなことについても協議をさせていただいた上で商工会さんの意向に沿う形で、町としても補助金を交付させていただくということで本日の補正予算の計上に至ったわけでありまして。そこは商工会さんが会員の状況、あるいは町内の商工業の状況、あるいは町の財政状況までも勘案していただいているという提案をされているということでございますので、その提案を尊重して今回の事業に至ったわけでございます。

議 長

( 亀澤 進 君 ) 他に質疑はありませんか。

9番、鈴木托治君。

9番議員

( 鈴木托治 君 ) 今度の商品券の件ですけど、ちょっと聞き漏らした点があるかもしれませんので再度伺いたいと思っておりますけど、1万円で13,000円の商品券を買えるということですけど、券の金額はいくらの、例えば1,000円券を13枚くれるのか、あるいは500

円なのか、そこらをちょっと詳しく聞きたいと思っております。そしてまた先ほど買えないような店も森町にはあるといったわけですが、その名前をもし公表できたら教えていただければと思います。例えばコンビニなんかは全国チェーンでやっているわけですがコンビニなんかは果たしてそれを使えるのかどうか、そういうことをもし分かれば教えていただきたいと思います。

議長 ( 亀澤 進 君 ) 長野産業課長。

産業課長 ( 長野 了 君 ) 産業課長です。ご質問にお答えしたいと思います。先ほど来申し上げておりますが商工会事業でございますので、あくまでも今、お聞きしている段階ということです。先ほど申し上げましたように1万円分については全取り扱いしたいという店舗、3,000円分については大規模を除いた店舗ということで、1万円分の方については現時点では1,000円分を10枚で考えている、3,000円については500円を6枚で考えていると今のところそうお聞きしております。

2点目のどういった事業者が使えないかということでございますけど、あくまでも今後のことということで、当然大規模となると、森町でございますのでピアゴ等々につきましては大規模店舗に入るのかということでございます。コンビニについては、事業形態というのはそれこそ主に二種類ございまして、オーナーさん個人事業主として例えばセブンイレブンでセブンイレブンのものを買ってやっているという形態が一つ、フランチャイズ方式というか個人事業主形態というのと、あとは本部が出すコンビニというのがもう一つ、二つの形態が主にあります。今、聞いている段階で森町にあるのは個人事業主としてやっているコンビニさんでございますので、現時点ではそれについては全店舗の対象としたいとお聞きしております。以上です。

議長 ( 亀澤 進 君 ) 9番、鈴木托治君。

9番議員 ( 鈴木 托 治 君 ) そうすると例えば2,300円を買った場合、3,000円券を出して3,000円払って、お釣りというものはもうだめだと、

要するに2,000円プラス現金という買い方をしなければいけないものかどうか。

議長 ( 亀澤 進 君 ) 長野産業課長。

産業課長 ( 長野 了 君 ) 産業課長です。再質問にお答えします。今お聞きしている段階ではお釣りは出ないということでございますので、今おっしゃったように例えば2,300円のものを買うときには2,000円の商品券プラス現金300円と聞いております。以上です。

議長 ( 亀澤 進 君 ) 以上で質疑を終了します。

これから討論を行います。討論はありませんか。

( 発言する者なし )

議長 ( 亀澤 進 君 ) 「討論なし」と認めます。

これから議案第65号を採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。

( 起立全員 )

議長 ( 亀澤 進 君 ) 起立全員です。

したがって、議案第65号は、原案のとおり可決されました。

日程第5、議会運営委員会の閉会中の所掌事務調査についてを議題とします。

議会運営委員会委員長から、森町議会会議規則第75条の規定によって、お手元に配布いたしました「次期議会の会期、日程等議会運営に関する事項等」について、閉会中の継続調査の申し出があります。

お諮りします。

委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに、ご異議ありませんか。

( 「異議なし」と言う者多数 )

議長 ( 亀澤 進 君 ) 「異議なし」と認めます。

したがって、委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。

以上で、本日の日程は全部終了しました。

会議を閉じます。

令和2年8月森町議会臨時会を閉会します。

( 午前11時25分 閉会 )

以上のとおり会議次第を記録し、ここに署名します。

令和2年8月20日

森町議会議長

会議録署名議員

同 上